

- ・備する。
- ・教職員の労働環境の質的向上を図る。
- ・教職員用駐車場を十分に確保する。

2 快適な学習生活空間・環境への配慮

●快適な学習生活空間

- ・普通教室、特別教室には空調設備を設置する。
- ・トイレ器具は洋式を基本とし、生徒数に対して十分な数の器具を設置する。
- ・トイレ内の床は乾式とし、清掃しやすく衛生的な施設を計画するとともに、広く明るい空間を計画する。
- ・多様性に配慮したトイレを設置する。

●環境への配慮

- ・校舎は自然採光、自然換気により明るく過ごし易い環境にする。
- ・普通教室は南向きを基本とし、教室内で十分な自然光が取り入れられる計画とする。

●だれもが使いやすい学校

- ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を徹底する。
- ・個別の配慮を必要とする生徒が利用できる部屋を整備する。

3 地域コミュニティの拠点形成

●中学校と地域の連携・協働、地域開放、地域施設との複合

- ・グラウンド、体育館等は地域開放がで

きるよう町民の利用も考慮した配置計画とする。

- ・地域開放部分と学校利用部分はセキュリティ区分を明確に計画する。
- ・地域利用者専用の出入口を設け、生徒・教職員との動線交差に配慮する。
- ・十分な数の駐車場を整備し、町民が訪問した際に利用できるよう計画する。

4 安全・安心な施設環境の確保

●災害に対応した学校

- ・校舎は耐震構造を基本とする。
- ・避難所として必要な機能、施設について、防災担当部局と連携しながら計画する。

●日常の安全性確保

- ・窓をはじめとする開口部からの侵入防止、地域開放に伴う利用者の増加に対して適切な安全性を確保する。
- ・生徒、教職員のプライバシーに最大限配慮しつつ、不審者侵入の防止を図るため、防犯カメラを適所に設置する。
- ・感染症対策として有効である手洗い場を適所に設置する。
- ・保健室と職員室を近接させるなど、生徒の安全に目が届きやすい環境を整備する。
- ・緊急車両が通れる門の広さ、周辺道路からの進入のしやすさに配慮する。

5 財政負担を軽減する効率的な施設・運営

●計画的な整備、敷地利用の効率化

- ・余裕教室を考慮した計画とし、効率的で将来の改修も考慮した学校施設計画を行う。

- ・どの生徒も通学の負担が少ない場所、安全な通学路が確保できる場所に学校を計画する。

- ・工事期間中であっても、行事の中止や教室の明るさ確保など、生徒の学習環境に与える影響を最小限に抑える計画を行う。

●維持管理に配慮した施設計画

- ・中長期修繕計画を作成し、改築時より将来発生する維持管理費用を想定する。
- ・維持管理費削減が図れるメンテナンス性に優れた建材を利用する。
- ・機器更新の際に大規模な改修が発生しないよう、ゆとりをもたせた教室を計画する。

教育委員会では、「目指すべき中学校のあり方」を指針として、引き続き豊山中学校の改築に向けた検討を進めていきます。

「目指すべき中学校のあり方」については、町ホームページをご覧ください。また、教育委員会事務局窓口（役場3階9番）でも閲覧可能です。ご意見等ございましたら下記にお寄せください。

▼問合せ

学校教育課学校教育グループ

TEL 28・2211

FAX 29・1177

E-MAIL gakkokyoiku-ka@town.toyoyama.lg.jp

所在地	愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字前池39	
用途地域	第一種中高層住居専用地域・第一種住居地域	
地域地区	第二種高度地区（H=20m）	
構造種別	RC造	
階数	4階建て	
敷地面積	15,946.00㎡	
延床面積	9,659.76㎡	
代表建築年度	1963年	
保有教室数	普通教室19室	特別教室18室
生徒数	535人（令和4年5月1日時点）	

